

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
33	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <1 家庭の教育力の向上> (1)家庭教育への支援				
34	1-1-(1)-① 地域教育懇談会	指導課	中学校ブロックごとに、学校、幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校PTA、幼稚園・保育所の保護者会、自治会関係者、青少年育成地区委員、民生・児童委員、青少年委員、人権擁護委員、社会教育委員、保護司・更正保護女性会関係者、PTA連合会OB、学校支援コンシェルジュ、公民館・児童館関係者など、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会を実施します。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会を3回、全体発表会を実施した。	中学校ブロックごとに、地域の様々な関係者による協力機関としての懇談会として、ブロック連絡会及び全体発表会を実施する。
34	1-1-(1)-② 健康・安全指導の充実	指導課	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図ります。	児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、健康・安全に関する資料の作成や活動の場の整備を図ることができた。	学習指導要領に基づき、児童・生徒が健康で明るく活力ある生活を送ることができるよう、心身の健康の保持増進に関する取組の充実を図る。
34	1-1-(1)-③ 第三次稲城市食育推進計画の推進	健康課	子どもの基本的な生活習慣の形成は、生活リズムの向上を図ることが重要です。朝食をとることや早寝早起きを実践し、学校、地域、民間団体等の協力を得ながら「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進します。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指すため、第三次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進し、子どもの基本的な生活習慣の形成を図った。	学校、家庭、地域、民間団体等の協力を得ながら、子どもの基本的な生活習慣の形成に重要な生活リズムの向上を目指すため、第三次稲城市食育推進計画に基づき「早寝、早起き、朝ごはん」運動等を推進し、子どもの基本的な生活習慣の形成を図る。
34	1-1-(1)-④ 第三次稲城市子ども読書活動推進計画の推進	図書館課	読書は、言葉や感性を磨き、想像力を高め、創造力を豊かにします。学校・家庭・地域・図書館であらゆる機会とあらゆる場所において、主体的に読書を行い、生きぬく力を育むことができるよう、子どもの読書活動を支援し推進します。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の3年目にあたる。市内全図書館で、読書通帳を1,248冊発行したが、読書通帳サービス拡大の要望が高く、有料の販売分も含めると1,386冊に至った。夏休み前には、小学1年生向けに「としょかん1ねんせいパック」として、おすすめ本のリストや読書通帳の申請用紙等を配布し、本に親しむ環境づくりを行った。令和4年度の子どもの読書イベントは、「図書館らくご」と題し、図書館司書の資格を持ち、全国の図書館や学校で「図書館寄席」等で活躍されている落語家の入船亭扇治師匠を講師に招き、小学生向けの入門落語、中学生以上向けの古典落語の実演と、関連本の紹介を内容とするイベントを実施し、延べ67人に参加いただいた。	第三次稲城市子ども読書活動推進計画の4年目にあたる。市内全図書館での読書通帳の発行、小学校1年生向けの「としょかん1ねんせいパック」の配布を通じて、本に親しむ環境づくりを継続する。令和5年度においては、読書週間にあわせ、「外で読もうデー」の開催を予定しており、児童への読み聞かせやこどもえいが会の上映を計画している。また、11月3日に、「本の世界を大ぼうけん おはなしの宝島へGO!!2023」と題した子ども読書イベントを予定している。
35	1-1-(1)-⑤ 情報の提供	各課	広報、生涯学習だより「ひろば」、学校だより、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図ります。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、学校だより(市内小中学校18校。月1回以上)、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、学校だより(市内小中学校18校。月1回以上)、ホームページなどにより、家庭教育に資する情報提供の充実を図る。
35	1-1-(1)-⑥ 教育相談事業	指導課	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施します。	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施した。 ○相談回数1,114回	教育相談室で児童・生徒や保護者、教員を対象に子どもの不安や悩みに関する相談を実施する。
35	1-1-(1)-⑦ 子どもと家庭の総合相談	子ども家庭支援センター課	18歳未満の児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関して専門相談員による総合的な相談を実施します。	令和4年度の新規相談件数(養護相談・障害相談・非行相談・育成相談等)355件を受理し、相談を継続している。	総合相談については、引き続きHPや広報での周知を行い、児童を育てる家庭が抱える課題・問題に関しての相談を積極的に対応していく。
35	1-1-(1)-⑧ 要保護児童対策地域協議会	子ども家庭支援センター課	児童虐待の防止及び早期発見・早期対応のために、代表者会議では要保護児童対策の検討及び関係機関の連携を強化、実務者会議では要保護児童等の実態把握や支援を行っているケースの総合的な把握・進行管理等について協議・検討、個別ケース検討会議では個別の案件について具体的な支援の内容を検討します。	代表者会議を7月に開催、実務者会議として児童相談所との進行管理会議を4回、特定妊婦部会を3回、虐待予防検討会を10回、個別ケース検討会議を34回行った。	代表者会議を7月に開催、実務者会議として児童相談所との進行管理会議を年4回、特定妊婦部会を年3回、虐待予防検討会を年12回予定している。個別案件の個別ケース検討会議については、その都度関係機関と調整を行い、具体的な支援の内容の検討を図る。
35	1-1-(1)-⑨ 子育てサポーター養成	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)	子育てに関する知識や情報を身に付け、子育て支援ができる人材を養成し、ボランティア団体として児童館等で地域の親子と遊び、育児の相談や話し相手として活動を行います。活動を支援し、養成講座修了者に対して、質の継続、向上をします。	子育てサポーターを養成し、月1回、児童館での市民ボランティア活動で地域の親子を対象に遊び等を提供しながら子育て支援活動をさらに進めた。 【子育てサポーター養成講座 全6回 6~7月に実施】 子育てサポーターの質の継続・向上のために、スキルアップ講座を開催した。 【子育てサポータースキルアップ講座 8月実施】	子育てサポーターを養成し、月1回、児童館での市民ボランティア活動で地域の親子を対象に遊び等を提供しながら子育て支援活動をさらに進めていく。 【子育てサポーター養成講座 全6回の講座を、6~7月に実施予定】 子育てサポーターの質の継続・向上のために、スキルアップ講座を開催する。 【子育てサポータースキルアップ講座 1回/年 9月実施予定】

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
35	1-1-(1)-⑩ 生涯学習宅配便講座	生涯学習課	子育てに関するテーマなど、10人以上のグループからの申請により、市職員や市民ボランティア講師を派遣し出前講座を実施します。	職員が講師として登壇する“職員講師編”45講座、市民が講師となる“市民ボランティア講師編”15講座、NPO・企業等講師編14講座、官公庁等講師編2講座の計76講座をメニューとして用意し、19講座911人の受講があった。	事業案内冊子の刷新。①ふるさと学、②子育て・家庭・地域・福祉、③社会・経済、④自然・科学、技術・芸能、⑤芸術・文化・趣味、⑥健康・スポーツ、⑦その他の7ジャンルに分類した編集を予定。新たに、オンライン配信可能講座、障害などがあり外出が困難な方の自宅に伺うことが可能な講座メニューを用意する。
35	1-1-(1)-⑪ 子育て講座・親子交流事業	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)・児童青少年課・生涯学習課	公民館や児童館などを利用して、子育て講座や子育て中の親子同士が交流や情報交換を図る場の提供や機会づくりを推進します。	(子ども家庭支援センター課) 利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、職員が出向き、子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進めた。 市内の児童館等の8施設で240日開催。延べ4626人が利用。 (児童青少年課) 各児童館にて親子参加の主な児童館事業を下記のとおり実施した。 ①本郷児童館 5事業 延57回実施 延参加者数1,241人 ②第二児童館 4事業 延96回実施 延参加者数1,339人 ③第三児童館 11事業 延62回実施 延参加者数694人 ④第四児童館 5事業 延33回実施 延参加者数400人 ⑤城山児童館 13事業 延151回実施 延参加者数776人 (生涯学習課) 公民館事業として、以下の講座及び教室を実施した。 ・3館で保育付講座 ・1館で子育て応援講座 ・1館でインファントマッサージ教室 ・1館で親子で体験「えてがみ教室」 延べ223人(子ども197人)が参加した。	(おやこ包括家庭支援センター課) 利用者支援事業の一環の『出張あそびの広場 はぐはぐ』を実施し、職員が出向き、子育て中の親子同士が交流や情報交換をできる場の提供など子育て支援を積極的に進める。 開催曜日は、月～金・市内の児童館等の施設で開催予定。第二文化センター児童館と第三文化センター児童館では、月に1～2回午後も開催 (児童青少年課) 各児童館にて、親子参加の児童館事業を実施する。子育て中の親子同士が各児童館の工夫された幼児事業に参加することで、情報共有を図り、学びの機会を提供する。 (生涯学習課) 子育て講座事業として「親子の教室」及び親子ふれあい事業として「インファントマッサージ教室」等の講座を継続して実施する。
36	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <2 幼児期からの教育の推進> (1) 幼児教育の充実				
37	1-2-(1)-① 地域教育懇談会(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
37	1-2-(1)-② 幼稚園・保育所・認定こども園から小学校への円滑な接続	指導課・おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)	幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流や情報交換や、スタートカリキュラムの実施などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図ります。	(指導課) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、幼稚園・保育所・認定こども園との園児、児童の相互交流はできなかったが、就学前の情報交換などを行い、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図った。 (子ども家庭支援センター課) 市内乳幼児施設連絡会を9月に開催。 市立小学校教職員と乳幼児施設職員が「小学校との交流」についてをテーマにグループ討議をしながら、幼児期の教育、保育から小学校教育への円滑な接続を図れるよう情報交換等を実施。 (テーマ)[幼・保・小接続における交流活動の充実に向けて]	(指導課) 幼稚園・保育所・認定こども園と小学校との交流や情報交換、スタートカリキュラムの実施などにより、幼児期の教育から小学校教育への円滑な接続を図る。 (おやこ包括支援センター課) 市内乳幼児施設連絡会を9月に開催予定。 市立小学校教職員と乳幼児施設職員がグループ討議をしながら、幼児期の教育、保育から小学校教育への円滑な接続を図れるよう情報交換等を実施予定。 (テーマ:スタートカリキュラムとアプローチカリキュラムについて)
37	1-2-(1)-③ 子育て講座・親子交流事業(再掲)	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)・児童青少年課・生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
37	1-2-(1)-④ 私立幼稚園協会補助金	子育て支援課	幼児教育の振興と充実を図ることを目的に、私立幼稚園協会に対して、園長・教諭などの研修費、特別支援教育費などを補助します。	市内私立幼稚園7園及び幼保連携型認定こども園1園の幼児教育の振興と充実のために、研修費、特別支援教育費等を補助した。	継続して実施する予定。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
38	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <2 幼児期からの教育の推進> (2) 幼児教育への支援				
38	1-2-(2)-① 幼児教育・保育の無償化	子育て支援課	幼稚園等に在籍する保護者の経済的負担の軽減を目的に、国制度に基づき、認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付を行います。	認定こども園・新制度幼稚園の保育料を無償化とし、新制度に移行していない現行制度幼稚園等利用者に対して、子育てのための施設等利用給付(現行制度幼稚園利用者については月額上限25,700円)を行った。	継続して実施する予定。
38	1-2-(2)-② 私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金	子育て支援課	私立幼稚園等に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の幼児教育・保育の無償化に加えて、保育料等の一部を補助します。	私立幼稚園等に在籍する幼児の経済的負担の軽減を目的に、国制度の子育てのための施設等利用給付に加えて、私立幼稚園等園児保護者負担軽減補助金(月額上限は所得により1,800円～6,200円)を交付した(なお、新規入園者については入園準備金として年間1万円を加算。)	継続して実施する予定。
38	1-2-(2)-③ 子どもと家庭の総合相談(再掲)	子ども家庭支援センター課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
38	1-2-(2)-④ 幼児期読書支援事業	図書館課	絵本の読み聞かせ、おはなし会などの事業を通して本の楽しさを知る機会を作ります。	令和4年度途中から各館での読み聞かせ事業を再開し、多数の参加を得た。「おひざにだっこのおはなし会」を256回開催し、2,111人、「えほんのじかん」を151回開催し、1373人の参加があった。その他「おはなしの会」「アニマシオン」「おはなし会」等も再開した。また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、対象者669人のうち667人に絵本をはじめとする赤ちゃんパックをプレゼントした。	感染防止対策をとりながら、各館における絵本の読み聞かせ、おはなし会を実施する。また、保健センターでの3～4か月児健康診査に合わせてブックスタート事業を行い、絵本を通じて赤ちゃんとその家族がふれあいの時間を持つことを応援する。
39	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (1) 仕事と生活の調和による市民の教育参加の推進				
39	1-3-(1)-① 「仕事と生活の調和」の啓発	市民協働課・生涯学習課	講座やパンフレットなどを通じて、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての周知を図ります。	(市民協働課) ・「男女平等推進いなぎプラン関係各課、取り組み状況調べ」の中でワーク・ライフ・バランスに関する質問を入れ、全庁的に実施することで意識の向上を図った。 ・機関誌「それいゆ」の特集記事として「育児休業法が改正されました～誰もが働きやすい社会の実現のために～」を掲載し、制度の情報提供を行った。 ・セミナー等開催の際は、仕事や子育てをしている方にも参加しやすいように託児付きセミナーを実施した。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ講座を行った。	(市民協働課) セミナーやパンフレットなどを通じて、職場・家庭・地域に対し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)についての周知を図る。 (生涯学習課) 「親と子の教室」の中で、ワークライフバランスや家族のあり方について学ぶ内容の講座を行う。
40	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (2) 地域人材と連携した教育の推進				
40	1-3-(2)-① 人材バンクの整備	市民協働課・生涯学習課	市民の学習成果や特技などを活かした自己表現の機会や各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクについて、活用の促進に向けた周知を行います。	(市民協働課) 広報・HP等で周知し、各種行政委員会・審議会委員として参加できる方を募集した。新規登録が4件、登録抹消が4件あり、合計で70名(令和4年3月31日現在)の登録となった。 (生涯学習課) 32部門に延べ144名の登録があった。登録者を生涯学習宅配講座やいなぎICカレッジ講師として積極的に活用している。	(市民協働課) 引き続き、広報・HP等で周知を行い、各種行政委員会・審議会委員として活用できる人材バンクを整備する。 (生涯学習課) 新登録者を生涯学習宅配講座やいなぎICカレッジ講師として活用できるように努めるとともに、人材検索の方法改善、人材登録申込時のロゴフォーム活用にも努める。
40	1-3-(2)-② サポーターの育成	生涯学習課	自分の技能や経験を活かしたい人、学びたい人をつなぐサポーターの役割を担う人材の育成を支援します。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」事業には、新規登録者がなかった。	自分のスキルを活かしたい方を登録紹介する「人材バンク」新規登録者を、生涯学習宅配講座講師などにつなげる。
40	1-3-(2)-③ 市民講師システムの整備	生涯学習課	市民の学習成果を活かし、市民同士の「まなびあい」を支援する場として、市民講師システムを整備します。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて継続実施した。新型コロナウイルス感染拡大の影響対策で企画実施した「短期間・少人数で企画する特別講座」については、16講座実施し、126人が受講した。	いなぎICカレッジ「一般教養講座」として、市民講師による市民のための講座を年間を通じて実施。また、市民講師を生涯学習宅配講座の講師として、市民講師による「まなびあい」システムを整備する。
40	1-3-(2)-④ 地域の教材を活用した教育の推進	指導課	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用します。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進します。	郷土資料室、穴澤天神社など、小学校を中心に学習教材として活用した。地域の人材・自然を活用し、稲作や梨の成育についての学習の機会を設定した。また、音楽科の授業においては、箏曲の大師範に指導をいただいた。	地域の人材、自然、伝統など恵まれた教育環境を地域の教材として活用する。地域との交流・地域特性を活かした学習の場・機会の設定を推進する。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
41	1-3-(2)-⑤ 地域と共にある学校づくり推進事業	指導課	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を配置し、学校支援ボランティアの円滑な推進を図ります。	中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」により、地域と共にある学校づくりの推進を図った。令和4年4月に全小中学校に学校運営協議会を設置し、さらなる推進を図った。	全小中学校に設置された学校運営協議会や、中学校ブロックごとに、域内の教育支援活動などの総合的な調整役を担う「学校支援コンシェルジュ」を通して、地域と共にある学校づくりの推進を図る。
41	1-3-(2)-⑥ 地域教育懇談会(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
41	1-3-(2)-⑦ 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)	指導課	地域に根ざした学校運営のため協議会を設置し、定期的な意見交換、協議を行い、地域に開かれた学校を目指します。	令和4年度から全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する場へ移行した。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりに努めた。	全校に学校運営協議会を設置し、校長や保護者、地域住民が学校運営協議会委員となり、学校運営及び学校運営への必要な支援について熟議する。学校と地域とが一体となって、地域とともにある学校づくり、学校を核とした地域づくりを推進する。
41	1-3-(2)-⑧ 防災学習の充実	指導課	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、共に助け合う防災学習の充実を図ります。	学校、地域が連携し、防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、ともに助け合う防災学習の充実を図った。	学校、地域が連携し、共同での防災訓練などを行うとともに、防災に関する体験活動を取り入れながら、共に助け合う防災学習の充実を図る。
41	1-3-(2)-⑨ 地域の読書環境の推進	図書館課	地域文庫では、本の貸し出し・読み聞かせの会・読書会などにより、地域の子供・保護者へ本を紹介するとともに、「本はともだちいなぎの子」読書イベントに参加します。また、図書館職員を講師とした新刊絵本を読み合う「子どもの本の会」を主催し、一般に公開します。これらの活動を通じて、子どもたちにはなしの楽しさを伝える文庫活動をPRし、文庫活動の交流を推進します。	新刊絵本を紹介する「子どもの本の会」が年間11回開催され、図書館司書を派遣し、参加人数延べ56人に絵本の紹介を行った。	地域文庫がそれぞれの地域で読書活動を行う他、月1回開催される新刊絵本を読む「子どもの本の会」へ図書館司書を派遣し、絵本の紹介を行う。
42	1 家庭や地域における学びの推進と連携 <3 地域力を高め活かす教育の推進> (3) 青少年の健全育成				
42	1-3-(3)-① 稲城ふれあいの森事業	児童青少年課	自然体験により、青少年の健全育成を図るため、安全で利用しやすい施設の管理・運営を行います。	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施した。 (利用状況) 利用者 3,698人 (主な整備・補修内容) ②危険樹木伐採 ③施設内蜂対応 ④メイン通路高所枝折れ対応 ⑤テントサイト腐食イス改修	稲城ふれあいの森運営委員会を中心に施設の管理運営、整備を実施する。
42	1-3-(3)-② 青少年指導者養成事業	児童青少年課	地域や社会で活躍できる人材を育てるため、ジュニアワーカーセミナー、青年ワーカーセミナーの内容を充実していきます。	稲城市青少年委員会を中心に実施した。 (ジュニアワーカーセミナー) 通年で全8回にて開催 参加者数:41人(小学生27人、中学生14人) (青年ワーカーセミナー) 通年で全6回にて開催 参加者数:22人	青少年員を中心に地域や社会で活躍できる人材を育てるため、ジュニアワーカーセミナー、青年ワーカーセミナーを実施していく。
42	1-3-(3)-③ 二十歳の式典(旧:成人式事業)	生涯学習課	新成人による「成人式実行委員会」を組織し、新成人の意見を聞きながら、式典を企画・運営します。	対象者13人で実行委員会を組織し、成人の意見を活かした企画・運営で「二十歳の式典」を実施した。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典は二部制としたが、対象者が一堂に会する語らいの場を一部と二部の間に実施した。市内出席者663人(出席率66.1%)。また、4月1日に成人となった18歳・19歳の新成人に向けて、市長・教育長からのメッセージ等を送付した。	令和5年度に20歳となる者で「二十歳の式典実行委員会」を組織し、実行委員の意見を活かした企画・運営を行う。また、18歳の新成人に向けて、市長・教育長からのメッセージ等を送付する。
42	1-3-(3)-④ 青少年育成地区委員会への補助	児童青少年課	自然体験や伝統文化(塞の神・お祭り)など、地域での青少年健全育成活動を支援するため補助を行います。	稲城市青少年育成地区委員会へ補助金の支出及び活動補助を行った。 (1)補助金 10地区計 2,591,220円 (2)キャンプ奨励費 5団体計 109,500円 (3)主な活動補助 市内一斉夜間パトロールを7月29日に行った。	補助金、キャンプ奨励費、市内一斉夜間パトロールなどの活動補助を実施するため、活動に要する経費の一部を補助することで、主体的な地域の活動を促進していく。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
42	1-3-(3)-⑤ 青少年芸術文化活動補助事業	生涯学習課	青少年を中心とした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行います。	青少年を中心に芸術文化活動を行っている6団体に稲城市芸術文化団体連合会を通じて補助を行った。	青少年を中心とした芸術文化活動を活発化していくため、活動団体への補助を行う。
42	1-3-(3)-⑥ 青少年問題協議会	児童青少年課	青少年の健全育成に関わる機関・団体の活動を効果的に進めるための協議や、青少年健全育成の課題について情報交換などを行います。	多摩中央警察署や多摩児童相談所等と交え、稲城市青少年問題協議会を年2回開催した。 (1)第1回 令和4年7月14日開催(出席者数20名) (2)第2回 令和5年2月2日開催(出席者数20名) (3)議題 青少年健全育成に関する課題についての情報交換等	家庭、学校、地域等の代表者の参加により、情報共有を図り健全育成環境の充実を図っていく。
44	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <1 確かな学力の育成> (1)「知識及び技能」の習得、「思考力、判断力、表現力等」の育成、「学びに向かう力、人間性等」の涵養				
44	2-1-(1)-① 学習指導の改善・充実	指導課	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図ります。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を実施し、基礎・基本の定着を図った。また、授業改善推進プランを作成の上、HPIにアップロードを行い実施した。	少人数指導、習熟度別指導、教育ボランティアなどを活用した、児童・生徒の個性や能力を活かす指導を推進するとともに、学習評価の充実を図り、基礎的・基本的な知識及び技能の習得や思考力、判断力、表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の育成を図る。
44	2-1-(1)-② 授業改善の推進	指導課	市学力調査や全国学力・学習状況調査の結果などを、効果的に分析・活用し、授業改善推進プランの作成・実施などを通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図ります。	市学力調査や全国学力・学習状況調査等の結果を分析し、児童・生徒が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、授業改善推進プランを作成し、授業改善を実施した。	市学力調査や全国学力・学習状況調査の結果などを、効果的に分析・活用し、授業改善推進プランの作成・実施などを通じて、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図る。
44	2-1-(1)-③ 稲城市立学校教育研究会の充実	指導課	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ります。	小・中学校合同の教科研究会を年間を通じて実施し、研究発表会を会場の他にオンラインでも実施した。また、研究を通して、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図ることができた。	小・中学校合同の研究会を通じ、学習指導要領を踏まえた授業改善や担当する業務の効果的な遂行を目指すとともに、児童・生徒の実態を念頭に置きながら、小・中学校の連携を通じた9年間のカリキュラムの充実を図る。
45	2-1-(1)-④ 特色ある学校づくりの推進	指導課	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGsの達成に向けたESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進します。	各学校とも、ESD全体計画に基づき、ESDを活用した特色ある教育活動を展開することができた。	児童・生徒及び地域環境を踏まえ、創意工夫し、SDGsの達成に向けたESDの視点を活かした特色ある教育活動を推進する。
45	2-1-(1)-⑤ 言語活動の充実	指導課	学習指導要領に基づき、学習の基盤となる言語能力を育むため、すべての教科において言語活動の充実を図ります。	ICTを活用した話し合いや発表等の場面を通して、言葉や文字、図などを活用し、全ての教科において言語活動の充実を図った。	学習指導要領に基づき、学習の基盤となる言語能力を育むため、ICTを活用する等、すべての教科において言語活動の充実を図る。
45	2-1-(1)-⑥ 読書活動の推進	指導課・図書館課	児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努めます。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供します。	(指導課) 学校図書館運営推進委員の活用及び学校図書館活性化推進員の配置により、学校図書館の利用推進を図り、各教科で学習センターの機能を果たし、図書資料を活用することができた。 (図書館課) 小学校112件、中学校27件の調べ学習の依頼に対応し、資料を貸し出すことで、児童・生徒の総合学習・調べ学習を支援した。学級文庫の貸出は、市立小学校151学級(支援学級含む)の利用があり、利用率は79%であった。その他、学校図書館運営推進委員会に参加し、読書活動における連携を図った。	(指導課) 児童・生徒の自主的な読書活動の一層の推進と学校図書館の活用方策や読書活動の促進方策についての情報交換や研究協議を行い、学校図書館を活用した指導の充実に努める。総合学習・調べ学習を支援し、学校からの調査(レファレンス)に応じ、各教科及び総合的な学習の時間において、活用できる資料を提供する。 (図書館課) 団体貸出の充実により、総合学習・調べ学習を支援。学校への資料の配送、学校図書館運営推進委員会への参加も継続して行う。
45	2-1-(1)-⑦ 情報活用能力の育成の推進	指導課	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図ります。	タブレット端末を活用し、プログラミング教育や情報モラル・情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図った。	タブレット端末を活用し、情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図る。
45	2-1-(1)-⑧ 理数教育の充実	指導課	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図ります。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験など、理数教育の充実を図った。	少人数指導の充実、習熟度別指導、理科実験の充実などを通じ、理数教育の充実を図る。
45	2-1-(1)-⑨ 外国語教育の推進	指導課	外国語指導助手(ALT)などを活用し、小学校からの実践的な外国語教育を推進します。	英語に関わる「聞く・話す」能力の向上のため、より実践的なコミュニケーション能力の向上が望める外国語指導助手(ALT)を派遣した。小学校においては延べ398日、中学校においては延べ227日派遣した。	外国語指導助手(ALT)などを活用し、小・中学校の実践的な外国語教育を推進する。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
46	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <2 豊かな心や創造性の涵養> (1)人権教育の推進				
47	2-2-(1)-① 人権教育の推進	指導課	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開します。また、学校における人権教育の充実を図ります。	市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を、会場及びオンライン開催した。市内全小・中学校の人権教育担当教員の参加による推進委員会を実施し、学校における人権教育の充実を図るための研修・情報交換を行った。	人権尊重の理念を定着させるため、推進委員会を組織し、学校関係者の研修・啓発のための事業を展開する。また、市内小・中学校全教員を対象とした人権講演会を開催し、学校における人権教育の充実を図る。
47	2-2-(1)-② 稲城市いじめ防止基本方針に基づく取組の推進	指導課	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、自尊感情や自己肯定感の育成や、いじめに関する授業等によるいじめの未然防止、児童・生徒へのアンケート実施等によるいじめの早期発見、組織的ないじめ事案への早期対応などに取り組めます。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、稲城市立いじめ防止啓発月間の取組を推進した。児童・生徒への生活アンケートの実施により、いじめの早期発見・解決を図るとともに、自尊感情や自己肯定感を育むための教員研修に取り組んだ。	稲城市いじめ防止基本方針に基づき、自尊感情や自己肯定感の育成や、いじめに関する授業等によるいじめの未然防止、児童・生徒へのアンケート実施等によるいじめの早期発見、組織的ないじめ事案への早期対応などに取り組む。
47	2-2-(1)-③ いじめ問題対策連絡協議会	子ども家庭支援センター課・指導課	稲城市におけるいじめ問題への組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ります。	(子ども家庭支援センター課) いじめ問題対策連絡協議会を7月に開催。関係機関と情報の連携を図り、円滑に努めた。 (指導課) いじめ問題対策連絡協議会については、7月に実施し、組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図ることができた。	(子ども家庭支援センター課) いじめ問題対策連絡協議会を7月に開催予定。引き続き関係機関と連携を図る。 (指導課) いじめ問題対策連絡協議会を開催し、稲城市におけるいじめ問題への組織的対応に係る関係機関の円滑な連携及び協力を図る。
47	2-2-(1)-④ 教育相談などの機能の充実	指導課	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談などの機能の充実を図ります。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や学校の教育相談体制の支援を行った。	いじめ、不登校、就学、教育、進路などの相談業務の充実や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー等の活用により、教育相談などの機能の充実を図る。
47	2-2-(1)-⑤ 不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援	指導課	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組めます。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室、スクールソーシャルワーカーと連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組んだ。	不登校児童・生徒に関して、家庭との連携を図るための教員研修に取り組むとともに、学校、教育相談室や適応指導教室と連携し、不登校児童・生徒の教育機会確保や状況の改善に向けた支援に取り組む。
48	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <2 豊かな心や創造性の涵養> (2)道徳心や社会性を身に付ける教育の推進				
48	2-2-(2)-① 道徳教育の推進	指導課	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進します。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座の開催、学校便り等の活用により、地域や保護者への理解・啓発を推進した。	全体計画及び年間指導計画をもとに、教育活動全体を通し道徳教育を行うとともに、道徳授業地区公開講座を開催し、地域や保護者への理解・啓発を推進する。
48	2-2-(2)-② 国際理解教育の推進	指導課	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進します。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進した。	国際社会に参加・協力できる能力と態度を育てるとともに、他地域との交流を深め、人間として尊重し合える教育を推進する。
48	2-2-(2)-③ 野沢温泉村宿泊体験	指導課	野沢温泉村でキャンプなどの自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学びます。 野沢温泉村と連携し、現地に「稲城100年の森」を育成します。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学びます。	野沢温泉村宿泊体験事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に努め、小学校は2泊3日にて、中学校は3泊4日にて、自然、文化体験を実施することができた。	野沢温泉村で、キャンプ等の自然、文化体験や交流を通じ、環境保全や自然を活かした暮らしについて学ぶ。 野沢温泉村の厳冬期を体験し、自然の恩恵や活用について学ぶ。
48	2-2-(2)-④ 大空町教育交流	指導課	市内小学生の大空町への訪問、大空町児童の受け入れの交流活動を通じて、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育みます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、8月の市内小学生の大空町への訪問、1月の大空町の児童の受け入れ事業を中止し、代わりに令和5年2月に小学5年生が質問し合うオンライン交流を実施した。	市内小学生と大空町との交流活動を通じて、自己や地域に対する理解を深め、コミュニケーション能力、広いものの考え方、思いやりやおもてなしの心、感謝の心を育む。
49	2-2-(2)-⑤ 音楽鑑賞教室	指導課	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育てます。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育む。前年度に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため延期した府中の森芸術劇場にて音楽鑑賞教室を、小学校5・6年、中学校1・2年合同で実施した。	市内の全小・中学校がプロの交響楽団の演奏を鑑賞することにより、文化のよさを知り、高い情操を育むとともに、生活の中で芸術や文化の価値を認める心情を育む。パルテノン多摩にて音楽鑑賞教室を、小学校5年生、中学校1年生が実施する。
49	2-2-(2)-⑥ 社会性を育む教育の推進	指導課	地域行事などの地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などへの参加を促し、社会参画の意識や公共の精神を育みます。	地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などの社会参加活動を支援する諸事業を展開した。	地域行事などの地域の自然や文化にふれる活動や奉仕的活動などへの参加を促し、社会参画の意識や公共の精神を育む。
49	2-2-(2)-⑦ 読書活動の推進(再掲)	指導課・図書館課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
49	2-2-(2)-⑧ 伝統・文化などに関する教育の推進	指導課	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などについて探究する学習を野沢温泉村や大空町との交流も活かしなが ら推進します。	タブレット端末を活用し、本市の地域固有文化及び日本の伝統・ 文化などについて探究する学習を推進することができた。ゲスト ティチャーを迎え、茶道や和楽器等に触れる機会を設定した。	本市を中心とした地域固有文化及び日本の伝統・文化などにつ いて探究する学習を野沢温泉村や大空町との交流も活かしなが ら推進する。
51	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康で安全に生活する力の育成> (1) 体力向上を図る取組の推進				
51	2-3-(1)-① 学校における体力向上の推進	指導課	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するととも に、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年 間を通して取り組みます。また、連合体育行事などを契機とした 体力向上を図ります。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容を制限しての 実施であったが、体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究 を実施するとともに、「一校一取組」や「一学級一実践」など、体育 活動に年間を通して取り組んだ。また、体力向上実行委員会の施 策として、短なわや長なわを用いた運動を取り入れて体力向上を 図った。	体育、保健体育の授業力向上等に向けた研究を実施するととも に、「一校一取組」や「一学級一実践」などを掲げた体育活動に年 間を通して取り組む。また、体力向上実行委員会が中心となり、 なわとび運動を契機とした体力向上を図る。
51	2-3-(1)-② 地域の人材活用の推進	指導課	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的 にスポーツを行うための機会を増やします。また、部活動などの 充実に向けて、地域の指導者の活用を図ります。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的 にスポーツを行うための機会の充実を図るとともに、部活動など の充実に向けて、地域の指導者の活用を図った。	地域のスポーツ活動に関わる人材と連携し、児童・生徒が積極的 にスポーツを行うための機会を増やす。また、部活動などの充実 に向けて、地域の指導者の活用を図る。
51	2-3-(1)-③ 東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等の活用	指導課	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち 一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むこ とができるよう努めます。	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち 一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むこ とができるよう努めた。	東京都体力・運動能力、運動習慣等調査等を活用し、子どもたち 一人ひとりに還元することで、目標をもって体力向上に取り組むこ とができるよう努める。
51	2-3-(1)-④ スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進課	スポーツ推進のための事業の実施に係る連絡調整並びに地域住 民や児童・生徒に対する実技指導、その他スポーツの推進のため の助言指導を行います。	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催	毎月1回の定例会開催、各部会の随時開催を実施予定
52	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康・安全に生活する力の育成> (2) 健康教育・食育の推進				
52	2-3-(2)-① 健康・安全指導の充実(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
52	2-3-(2)-② 小・中学校保健安全に関する事業	学務課	学校保健安全法に基づき、就学時健康診断及び定期健康診断を行 い、学校保健の充実を図ります。	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康 診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努 め、学校保健の充実を図った。 ・就学時健康診断 受診者数 901人 ・定期健康診断 小学校 受診者数 5,352人(在籍者数5,370人) 中学校 受診者数 2,279人(在籍者数2,380人)	児童生徒の健康の保持増進に向け、各学校において就学時健康 診断及び定期健康診断を行い、疾病などの予防・早期発見に努 め、学校保健の充実を図る。
52	2-3-(2)-③ 食育の推進	指導課・学校給食課	全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むととも に、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組めます。ま た、給食材料に地場産の野菜等を積極的に取り入れ、地産地消 を推進します。さらに、行事食や各国のメニュー等を取り入れ、給 食だよりを発行するなど、児童・生徒や保護者に食に関する理解 を深めてもらう機会づくりの充実を図ります。	(指導課) 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むととも に、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組んだ。 (学校給食課) 給食材料に地場産の玉ねぎ、じゃがいも、大根、白菜、長ねぎ等 の野菜や梨、ぶどうを積極的に取り入れ、地産地消を推進した。 また、給食献立に行事食やご当地料理、世界の料理を取り入れ、 給食だよりや施設見学等を通じて児童・生徒や保護者に食に関 する理解の促進を図った。	(指導課) 全体計画及び年間指導計画に基づいた食育に取り組むととも に、栄養士等の専門家を活用した授業実施に取り組む。 (学校給食課) 給食材料に地場産の野菜等を積極的に取り入れ、地産地消を推 進する。また、給食献立に行事食や各国のメニュー等を取り入 れ、給食だより等の広報物やInstagram、学校給食展の開催 を通じて児童・生徒や保護者の食に関する理解を深める。
53	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <3 健康・安全に生活する力の育成> (3) 安全教育・安全確保の推進				
53	2-3-(3)-① スクールガード・リーダーの配置	指導課	警察官OBIによるスクールガード・リーダーを配置し、学校施設及 び地域の安全点検・巡回、子ども、保護者、地域への安全指導・ 防犯に関する助言や講演会などを行います。	警察官OBIによるスクールガード・リーダーを配置し、小学校12校 及び周辺地域の安全点検・巡回を行い、安全指導・防犯に関する 助言等を全545回実施した。	警察官OBIによるスクールガード・リーダーを配置し、学校施設及 び地域の安全点検・巡回、子ども、保護者、地域への安全指導・ 防犯に関する助言や講演会などを行う。
53	2-3-(3)-② 「こども110番の家」の設置	総務契約課	緊急時(痴漢、災害等)に、児童・生徒が一時的に避難する「こど も110番の家」を設置し、子どもの安全を確保します。	こども110番の家の設置を推進した。 「こども110番」の家の設置 976件(令和5年3月31日現在)	引き続き、こども110番の家の設置を推進し、子どもの安全を確保 する。
53	2-3-(3)-③ 防犯に対する情報提供	総務契約課	防犯に関する情報を、「地域安全情報」として稲城市メール配信 サービスの登録者に配信します。	「地域安全情報」として稲城市メール配信サービスの配信を令和4 年度は161回実施した。	引き続き、随時、「地域安全情報」として稲城市メール配信サービ スの配信を行う。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
53	2-3-(3)-④ 防犯体制・警察との連携	総務契約課	PTAや防犯ボランティア団体、個人へ防犯資機材の貸出を行います。また、青色回転灯付パトロール車で下校時を中心に防犯パトロールを実施し、不審者情報等発生時には、多摩中央警察署と連携し、パトロールを強化します。	職員、防犯団体等による下校時を中心とした青色回転灯防犯パトロール車でのパトロールを実施した。 青色回転灯防犯パトロール車の貸出 262回 防犯資機材支給(団体及び個人) 令和5年3月31日現在の登録団体 132団体 令和5年3月31日現在の登録個人 27人	引き続き、PTAや防犯ボランティア団体、個人へ防犯資機材の貸出を行う。また、青色回転灯付パトロール車で下校時を中心に防犯パトロールを実施し、不審者情報等発生時には、多摩中央警察署と連携し、パトロールを強化する。
54	2-3-(3)-⑤ 児童館	児童青少年課	自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施します。	文化・スポーツ・創作活動を通じ、子ども達の心と体の成長や発達が図れるよう、児童館事業を実施した。 令和4年度市内5児童館の延利用者数69,014人	自由な遊びの場を提供し、心身の健全育成、情操を豊かにすることを目的とした児童館事業を実施する。
54	2-3-(3)-⑥ 学童クラブ	児童青少年課	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図ります。	市内16学童クラブで実施した。 放課後の一定時間の預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図った。 市内16学童クラブ 延在籍者数 10,710人	放課後の一定時間預かり、適切な遊びと生活の場を提供し、その健全な育成を図る。
54	2-3-(3)-⑦ 放課後子ども教室	生涯学習課	小学校全校・全学年を対象に放課後の児童の安全・安心な居場所を確保し、事業の充実を図ります。	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保した。 全学年登録率:28.9% 低学年登録率:44.3% 学童クラブ入所児童を除く低学年登録率:63.6%(3月末時点)	全12小学校・全学年を対象に実施し、放課後の児童の安全・安心な居場所を確保する。
54	2-3-(3)-⑧ 防犯・犯罪被害防止教育の推進	指導課	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭わない、事件に巻き込まれないための未然防止対応について学習を進めます。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭った場合の対応などの学習を進めることができた。	関係機関などと連携し、身近にある様々な危険について理解を深めるとともに、被害に遭わない、事件に巻き込まれないための未然防止対応について学習を進める。
54	2-3-(3)-⑨ 児童虐待対応事業	子ども家庭支援センター課・指導課	児童虐待の防止・早期発見・早期対応のために、家族及び地域住民や学校等の関係機関等からの虐待通告に対し、子ども家庭支援センターで迅速に対応します。	(子ども家庭支援センター課) 令和4年度新規虐待相談件数167件。 地域住民や関係機関からの通告、児童相談所からの送致に関して迅速に対応した。 また、保育園や小・中学校にチラシを配布し、虐待の早期発見・早期対応につながるよう務めた。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施した。	(子ども家庭支援センター課) 保育園や小・中学校にチラシを配布し、本人、保護者からも子ども家庭支援センターに連絡できるよう周知を行い、早期発見・早期対応のための強化を図る。 (指導課) 児童虐待の防止・早期発見・早期対応のため、日頃より関係機関との連携を図り、児童・生徒に虐待の形跡が確認された場合は、速やかに子ども家庭支援センターへ通告するなどの対応を実施する。
54	2-3-(3)-⑩ 要保護児童対策地域協議会(再掲)	子ども家庭支援センター課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
54	2-3-(3)-⑪ 防災教育の推進	指導課	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施します。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備します。	防災について学び、備蓄を考えて全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備した。また、地域と連携した共助の防災教育を実施した。	各学校において様々な災害を想定した防災教育や、地域と連携した防災訓練などを実施する。また、マイ備蓄としての全児童・生徒の「子ども防災自助パック」を学校に装備する。
54	2-3-(3)-⑫ 交通安全教育の推進	指導課	警察と連携し、交通ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図ります。	警察と連携し、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図った。	警察と連携し、交通ルールの理解や、歩行中、自転車乗車中の安全対策や、安全マナーを身に付けるための取組の充実を図る。
55	2-3-(3)-⑬ 情報モラル教育の推進	指導課	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットやSNSなどの適正利用やトラブル防止のため、情報モラル教育の年間指導計画を作成し、情報モラル教育を推進します。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットや携帯電話によるトラブルを未然に防ぐため、情報モラル教育の年間指導計画を活用し、情報モラル教育を推進した。	生活指導主任会が中心となり、各学校においてインターネットやSNSなどの適正利用やトラブル防止のため、情報モラル教育の年間指導計画を活用し、情報モラル教育を推進する。
55	2-3-(3)-⑭ 薬物乱用防止教室事業	指導課	学習指導要領に基づき、薬物乱用防止教室の実施や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語の活用など、薬物乱用防止の取組を推進します。	薬物乱用防止教室や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語への応募、教員対象の研修会を実施した。	学習指導要領に基づき、薬物乱用防止教室の実施や、東京都の薬物乱用防止ポスター・標語の活用など、薬物乱用防止の取組を推進する。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
55	2-3-(3)-⑮ アレルギー疾患への組織的対応	学務課・指導課	学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付け、校内で組織的に対応できる体制の維持・充実を図ります。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、事故防止に努めた。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付けるための校内研修の実施や非常時の組織的対応に関する体制の維持・充実を図った。	(学務課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患へ対応するため、「学校給食における食物アレルギー対応マニュアル」に基づき、情報収集・共有することで、事故防止に努める。 (指導課) 学校における児童・生徒の様々なアレルギー疾患への対応を行うため、家庭、関係機関等と連携し、個々の状況の把握や情報共有を行うとともに、教職員が正確な知識を身に付けるために、年度初めに校内研修を実施し、非常時の組織的対応に関する体制の維持・充実を図る。
55	2-3-(3)-⑯ 食物アレルギー対応食の提供	学校給食課	新たな学校給食共同調理場第一調理場において、食物アレルギー対応食の提供を実施します。専用の調理室で調理した除去食または代替食を予め申請した児童・生徒に提供していきます。	稲城市立学校給食共同調理場第一調理場において、申請のあった児童・生徒20人に対し、専用の調理室で調理した食物アレルギー対応食(除去食または代替食)を提供した。	稲城市立学校給食共同調理場第一調理場において、申請のあった児童・生徒に対し、専用の調理室で調理した食物アレルギー対応食(除去食または代替食)を提供する。
59	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)の推進> (1)環境・防災・国際理解などの社会の変化に自律的に対応できる力の育成				
59	2-4-(1)-① 環境教育の推進	指導課	児童・生徒が身近な環境に関心を持ち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組めます。	児童・生徒が身近な環境に関心を持ち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組んだ。	児童・生徒が身近な環境に関心を持ち、環境への理解を深め、環境保全に向けて実践できるよう、多摩川、三沢川、大丸用水や里山などの持続発展についての課題解決学習に取り組む。
59	2-4-(1)-② 防災教育の推進(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
59	2-4-(1)-③ ユネスコ・スクールへの登録	指導課	市内全小・中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践します。	市内11校の小学校と5校の中学校がユネスコ・スクールに登録し、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践した。(2校は申請中)	市内全小・中学校がユネスコ・スクール(2校は申請中)として、ユネスコの理想を実現するため、平和や国際的な連携を実践する。
59	2-4-(1)-④ 野沢温泉村宿泊体験(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
60	2-4-(1)-⑤ 農業体験、園芸体験、河川を活用した体験	指導課	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川、三沢川、大丸用水や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などへの理解を深めます。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などを学ぶことができた。	稲城特産の梨の栽培や収穫の体験、多摩川、三沢川、大丸用水や里山など豊かな自然を活かした学習で、自分の生まれ育った土地や地域、その歴史・文化などへの理解を深める。
60	2-4-(1)-⑥ 福祉教育の推進	指導課	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育みます。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育てるために、資料の提供、児童・生徒の活動支援などを行った。	総合的な学習の時間や生活科の学習などの福祉に関わる体験を通じて、思いやりの心や実践的態度を育む。
60	2-4-(1)-⑦ オリンピック・パラリンピックのレガシーを生かした取組の推進	指導課	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進します。	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進した。	東京2020大会以降もオリンピック・パラリンピック教育の成果を生かし、各学校の特色を生かした「学校2020レガシー」の取組を推進する。
60	2-4-(1)-⑧ ESDの計画的な推進	指導課	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行います。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行った。	ESD推進委員会の開催やESDの視点を活かした授業研究を行う。
61	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <4 持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)の推進> (2)社会的・職業的自立を図る教育の推進				
61	2-4-(2)-① 中学生ESD卒業プログラム	指導課	義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学校3年生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促します。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施します。	ESD卒業プログラム(認知症サポーター中学生養成講座、地域との連携による国際理解教育、地域との連携によるキャリア教育、その他将来の地域や社会の担い手となるための自覚や資質を高める学習活動)に取り組むことで、自ら選択した進路先に踏み出す「大人への第一歩」として、卒業後に自立した稲城市民になるという自覚を促すことができた。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施した。	ESD卒業プログラム(認知症サポーター中学生養成講座、地域との連携による国際理解教育、地域との連携によるキャリア教育、その他将来の地域や社会の担い手となるための自覚や資質を高める学習活動)に取り組み、義務教育という守られた環境の中で暮らしてきた中学生に、自ら選択した進路先に踏み出す時期において、「ここからが大人への第一歩」であり、卒業後は自立した稲城市民であるという自覚を促す。また、生涯を通じた着実な学び手、稲城の自然や歴史的価値(不易)の担い手、未来社会の創り手となるための学習を9年間のESDの仕上げとして実施する。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
61	2-4-(2)-② 職場体験事業	指導課	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めます。	市内全中学校における職場体験学習事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により一部中止したが、保護者や地域の方、企業の方に職種に関する講演をいただくなどして、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高めることができた。	市内中学校において職場での体験学習を実施し、中学生の段階から働くことに対する意識や社会の一員としての自覚を高める。
61	2-4-(2)-③ ボランティア活動の推進	指導課	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育みます。	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、事業内容を縮小しての実施であったが、ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組むことができた。	ボランティア活動や社会貢献活動を通じて、様々な課題解決に実践的に取り組み、公共のために役に立とうとする意欲・態度を育む。
63	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (1) 教員の資質・能力の向上				
63	2-5-(1)-① 教員の研修・研究の充実	指導課	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら内容を充実するとともに、各校の研修・研究を支援します。	教員の資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら実施した。校内研究会講師謝礼や研究奨励校に交付金補助等の支援を実施した。	教員としての資質向上・授業改善を図るために、教員が子どもと向き合う時間を確保しつつ研修方法を見直しながら内容を充実するとともに、各校の研修・研究を支援する。
63	2-5-(1)-② 稲城市立学校教育研究会の充実(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
63	2-5-(1)-③ 校内OJTの実施	指導課	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくための取組の推進を図ります。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」「生活指導力・進路指導力」「外部との連携・折衝力」「学校運営力・組織貢献力」を、意識的、計画的、継続的に高めていくために、校内OJTの取組を推進することができた。	すべての教員を対象に、教員が身に付けるべき基本的な力である「学習指導力」、「生活指導力・進路指導力」、「外部との連携・折衝力」、「学校運営力・組織貢献力」を、校内での職務の遂行を通じて、意識的、計画的、継続的に高めていくための取組の推進を図る。
63	2-5-(1)-④ 服務事故防止研修の実施	指導課	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、服務事故防止研修を実施します。	定例校長会において校内研修で取り組む視点の提示や、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した服務事故防止研修を実施した。	子どもや保護者・地域から信頼される学校運営を行うために、定例校長会において校内研修で取り組む視点の提示や、東京都教育委員会が発出している「ふくむニュースレター」を活用した服務事故防止研修を実施する。
64	2-5-(1)-⑤ 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
64	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (2) 教員が子どもと向き合う時間の確保				
64	2-5-(2)-① 学校における働き方改革の実現に向けた環境整備	指導課・教育総務課	教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向けた環境整備を図り、教員の負担軽減を図ります。	(指導課) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向け、主管会議の回数を見直すなど、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課) 令和4年度に稲城市立学校における働き方改革実施計画が満了するため、第二次稲城市立学校における働き方改革実施計画(令和5年度から令和7年度まで)を策定するとともに、出退勤管理システムや電話対応メッセージによる音声応答の運用により、教員の働き方改革を推進した。	(指導課) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、働き方改革の実現に向けた環境整備を図り、教員の負担軽減を図る。 (教育総務課) 令和6年度から校務支援システムを導入するため、事業者選定、システム構築作業を実施するとともに、引き続き、出退勤管理システムにより、教員の在校時間を客観的に把握するとともに、公共施設予約システムや電話対応メッセージの運用により、教員の負担軽減を図り、教員の働き方改革を推進する。
64	2-5-(2)-② 学校及び教員が担う業務の明確化及び適正化	指導課・教育総務課	教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図ります。	(指導課) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、タブレット端末の活用や、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。 (教育総務課) 令和4年度に稲城市立学校における働き方改革実施計画が満了するため、第二次稲城市立学校における働き方改革実施計画(令和5年度から令和7年度まで)を策定するとともに、電話対応メッセージによる音声応答、及び公共施設予約システムの運用により、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図った。	(指導課) 教員が子ども一人ひとりと向き合う時間を確保するため、タブレット端末の活用や、学校が担うべき業務を明確化及び適正化するなど、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図る。 (教育総務課) 引き続き、電話対応メッセージによる音声応答、及び公共施設予約システムの運用により、学校内外の業務の効率化を推進し、教員の負担軽減を図る。
64	2-5-(2)-③ スクールカウンセラー等の活用	指導課	各小・中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに、教育センターに教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした相談を実施します。	学校教育相談体制の確立及び充実のため、各小・中学校にスクールカウンセラーを配置し、教育相談員とも連携を図りながら、児童・生徒や保護者、教員を対象とした指導相談を実施した。	各小・中学校にスクールカウンセラーを配置するとともに、教育センターに教育相談員を配置し、児童・生徒や保護者、教員を対象とした相談を実施する。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
65	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (3)特別支援教育の充実				
65	2-5-(3)-① 特別支援教育体制の充実	指導課	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図ります。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒への指導・支援として、各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図る。
65	2-5-(3)-② 特別支援教育の専門性向上	指導課	教員研修の実施や、特別支援学校との連携、特別支援教育相談室による巡回相談などにより、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図ります。	各小・中学校に特別支援教育コーディネーターと校内委員会を置くとともに、特別支援指導補助員・介助員の配置などにより、個々のニーズに応じた指導の充実を図った。また、特別支援教育相談室による巡回相談の実施や研修を通して、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員が発達障害についての理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図った。	教員研修の実施や、特別支援学校との連携、特別支援教育相談室による巡回相談などにより、各小・中学校特別支援教育コーディネーターをはじめ、教職員の理解を深め、障害のある児童・生徒への関わり方や指導法の改善を図る。
65	2-5-(3)-③ 就学相談	指導課	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行います。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行います。	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、就学相談を行うとともに、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を実施した。 ○就学相談112件、転学相談16件、入級・入室相談89件、相談のみ65件 就学支援委員会11回開催	教育上特別な支援を必要とする児童・生徒の保護者を対象に、特別支援教育相談室において、就学相談を行う。また、児童・生徒一人ひとりの障害や発達の状態に応じた適正な就学ができるよう、就学支援委員会を設け、専門医の面談及び支援会議を行う。
65	2-5-(3)-④ 障害児保育巡回訪問指導事業	おやこ包括支援センター課(旧:子ども家庭支援センター課)	心身に障害のある乳幼児を早期に発見し、適切な療育につなげていくため、子ども家庭支援センターの専門職が公立保育所へ巡回訪問等を行います。発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行います。	子ども家庭支援センターの臨床心理士等の専門職が、公立保育所へ巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行った。(2回)	子ども家庭支援センターの臨床心理士等の専門職が、必要に応じて、公立保育所への巡回訪問し、発達等に不安のある乳幼児に関する保育の助言指導を行っていく。(2回/年 実施予定)
66	2-5-(3)-⑤ 保育所等訪問支援	障害福祉課	学校、保育所、幼稚園等で集団生活を営む障害のある児童・生徒に対し、その学校等を訪問し、集団生活への適応のための専門的な支援を行います。	支援が必要な児童に支援費を給付した。 実績 36人、120日	引き続き支援が必要な児童・生徒に支援費を給付していく。
66	2-5-(3)-⑥ 学童クラブにおける障害児保育事業	児童青少年課	障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制を整えます。	市内16学童クラブで受け入れ体制を整えた。 実績 10学童クラブ 22人	障害のある児童・生徒の放課後の居場所として、各学童クラブへの受け入れ体制を整える。
66	2-5-(3)-⑦ 放課後等デイサービス事業	障害福祉課	小・中学校等に就学している障害児に対し、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他必要な支援を行います。	支援が必要な児に支援費を給付した。 実績 225人、21,710日	引き続き支援が必要な児に支援費を給付していく。
68	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (4)学校経営・学校評価の充実				
68	2-5-(4)-① 学校評価の推進とその結果に基づく学校運営の改善	指導課	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努めます。	校長会、副校長会、教務主任会において、学校評価に関する研修を実施した。市内全小・中学校において、PDCAサイクルに基づく学校評価を実施し、結果を公表するとともに、学校運営の改善に努めた。	学校評価を適切に実施・公表するとともに、校長・副校長・教務主任を対象とした研修会などを実施し、PDCAサイクルに基づく学校運営の改善に努める。
68	2-5-(4)-② 学校運営協議会(旧:学校運営連絡協議会)(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
69	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (5)学校図書館の充実				
69	2-5-(5)-① 学校図書館整備の促進	指導課・教育総務課	学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図ります。	(指導課) 学校図書館活性化推進員を小・中学校全校に配置し、児童・生徒の読書への意欲を高めるとともに、学校図書館の運営の充実等により、学校全体としての読書活動をさらに推進することができた。 (教育総務課) 学校配当予算により、学校図書の整備を実施した。また、小学校2校に、図書館蔵書管理システムを導入し、全校への導入を完了した。	(指導課) 学校図書館活性化推進員の配置や図書ボランティアの活用及び、学校図書館の整備などを通じて、読書活動の推進を図る。 (教育総務課) 引き続き、学校配当予算により、学校図書の整備を実施する。
69	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <5 教育環境の整備> (6)就学困難子どもへの援助の推進				
69	2-5-(6)-① 就学相談(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
69	2-5-(6)-② 就学援助	学務課	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助し、保護者の経済的な負担を軽減します。	就学援助費受給者に対し、学用品・通学用品費等の援助を行った。 受給者 小学生 514人(準要保護児童495人・要保護児童19人) 中学生 288人(準要保護生徒268人・要保護生徒20人)	本市に在住し、公立の小・中学校に在籍する児童・生徒の保護者に対し、世帯の収入に応じて、学用品・通学用品費、新入学学用品費、学校給食費、校外活動参加費などの一部を援助し、保護者の経済的な負担の軽減に努める。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
70	2-5-(6)-③ 不登校の子どもなどの教育機会の確保や状況の改善に向けた支援(再掲)	指導課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
70	2-5-(6)-④ 外国人児童・生徒などの教育及び帰国児童・生徒の支援の推進	指導課	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進します。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアや補助員を活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進した。	日本語によるコミュニケーションが難しい、外国人児童・生徒や帰国児童・生徒のために、ボランティアを活用し、学校生活や学習活動の適応に向けた支援を推進する。
72	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 学校施設・設備の充実> (1) 学校施設などの整備の推進				
72	2-6-(1)-① 学校施設の整備	教育総務課・防災課	校舎等の学校施設については、計画的な改修と維持補修などにより、安全・安心を確保するとともに、環境面に配慮した学校施設などの整備を推進します。また、災害時における防災拠点としての機能維持を図ります。 都市基盤整備の進展等に伴う、児童・生徒の増加に対して、校舎の増改築などの必要な対策を講じます。	(教育総務課) 学校施設における安全・安心の確保のため、必要となる施設の維持補修を実施した。 また、校舎増築工事(南山小)、普通教室整備工事(四小、平尾小、南山小)、空調設備工事(六小、若葉台小、向陽台小、五中)を実施した。 (防災課) 災害時における避難所として、防災倉庫等の機能維持を図った。	(教育総務課) 引き続き、適切な施設の維持補修を実施する。 また、普通教室整備工事(平尾小)、校舎増築工事(南山小)、校舎屋上防水及び外壁改修工事(二中)、校舎建替工事基本設計及び実施設計等委託(三小)、体育館バリアフリートイレ設置工事設計委託(向陽台小・城山小・四中・五中)を実施する。 (防災課) 引き続き継続して、災害時における避難所として、防災倉庫等の機能維持を図る。
72	2-6-(1)-② 学校ICT環境の整備	教育総務課・指導課	情報手段の基本的な操作の習得や、プログラミング的思考、情報モラル、情報セキュリティ等を含む情報活用能力を育成する学習活動の充実を図るため、多様な教育活動に対応したICT機器などの学習機器の整備を推進します。	(教育総務課) 校務用パソコンの環境整備を実施した。 (指導課) 引き続き、GIGAスクール構想の実現として、小中学校の児童・生徒・教員に1人1台タブレット端末を整備し、学習活動の充実を図った。	(教育総務課) 引き続き、校務用パソコンの環境整備を実施する。 また、令和6年度から校務支援システムを導入するため、事業者選定、システム構築作業を実施する。 (指導課) タブレット端末等を活用し、多様な子ども達一人ひとりに個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を推進する。
73	2 「未来を創造し生きぬく力」の育成の推進 <6 学校施設・設備の充実> (2) 学校給食共同調理場の施設の充実				
73	2-6-(2)-① 学校給食共同調理場建替移転事業	土木課・建築保全課・学務課・学校給食課	学校給食共同調理場第一調理場の建替移転をすすめ、調理・洗浄業務の民間委託化を行い、衛生管理に配慮した、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行います。	(土木課) 旧調理場跡地に整備する新設道路の工事(幅員5m、延長約60m) (学校給食課) 令和3年度に引き続き、第一調理場において、衛生管理に配慮した施設設備により、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食の提供を行った。 また、第一調理場の調理・洗浄業務については、引き継ぎ業務委託により民間事業者が行った。	(学校給食課) 第一調理場において、衛生管理に配慮した施設設備により、安全でおいしい学校給食の提供及び食物アレルギー対応食を提供する。 また、第一調理場の調理・洗浄業務については、引き継ぎ業務委託により民間事業者が行う。
73	2-6-(2)-② 学校給食共同調理場整備事業	学校給食課	衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理にともなう修繕を随時行います。	保守点検により、施設・設備等の計画的な維持・管理を実施するとともに、日常点検により、施設・設備等の緊急的な維持・管理を実施した。 また、稼動開始から23年を経過した第二調理場においては、施設・設備ともに老朽化が進行していることから、衛生管理に留意しつつ、施設や設備の維持・管理に伴う修繕を適切に行った。	引き続き、保守点検により、施設・設備等の計画的な維持・管理を実施するとともに、日常点検により、施設・設備等の緊急的な維持・管理を実施する。 また、稼動開始から25年を迎える第二調理場においては、施設・設備ともに老朽化が進行していることから、計画的・緊急的な維持管理に加え、計画的な更新を実施していく。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
75	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (1) 学びの提供や支援				
75	3-1-(1)-① 子ども100ポイントラリー	生涯学習課	子どもが自ら目標をもって楽しく生涯学習活動に参加し、達成感を味わうことができるように「子ども100ポイントラリー」を実施します。	新1年生の増加に対応し、事業PR冊子1,120部作成、新1年生全員に学校を通じて配布した。夏休み前には、市内小学生全員に、事業案内チラシを配布した。	新1年生全員に事業案内冊子を学校を通じて配布する。「ひろば」での事業PRのほか、夏休み前には、事業案内チラシを市内小学生全員に配布して、事業参加促進を図る。
75	3-1-(1)-② 市民講師システムの整備(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
75	3-1-(1)-③ 各公民館まつり	生涯学習課	公民館で活動する団体が日頃の学習成果を発表し、地域における交流の機会を支援します。	各公民館まつりは下記のとおり実施した。 中央公民館交流まつり(9月17日・18日) 第二文化センター市民まつり(3月11日・12日) 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)(11月13日) 第四文化センターのつどい(2月18日・19日) 城山文化センターまつり(11月12日・13日)	各公民館まつりを下記のとおり実施する。 中央公民館交流まつり：9月 第二文化センター：3月 平尾まつり(第三文化センターまつり会場)：11月 第四文化センターのつどい：2月 城山文化センターまつり：11月
76	3-1-(1)-④ 公民館主催事業	生涯学習課	現代テーマごと、重点対象者ごとの支援課題に応じた事業を実施します。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行い、市内5館で30講座、延べ6,078人の参加があった。	地域住民の生活課題や地域課題を見据えて、効果的な学習機会の提供を行う。
76	3-1-(1)-⑤ iプラザ主催事業	生涯学習課	iプラザにおいて、学習機会や市民同士の交流機会を設け、各種の人材育成や人材活用を行うため、指定管理者の民間ノウハウを活かし、事業を実施します。	引き続き、感染症対策等に努めながら、時代に即した日常生活に関するテーマでの講座や、市内在住のプロ音楽家集団(I MUJICAアンサンブルコンサート)などの事業展開を図った。	引き続き、時代に即した社会経済情勢や身近な日常生活に関することをテーマに、指定管理者の民間ノウハウを活かした事業展開を図っていく。
76	3-1-(1)-⑥ いなぎICカレッジの充実	生涯学習課	生涯学習事業の中心的役割を果たす「いなぎICカレッジ」については、市民ボランティア理事による企画運営を、市が会場の確保とPRなどで支援します。	いなぎICカレッジの「一般教養講座」54講座694人、「プロフェッサー講座」12講座211人、「特別講座」16講座126人を企画運営について、会場の確保やPR、講座運営の側面的支援ができた。	いなぎICカレッジ理事会が企画する講座の受講生募集PR、会場確保など、ICカレッジ事務局として側面的支援に努める。
76	3-1-(1)-⑦ 生涯学習宅配便講座(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
76	3-1-(1)-⑧ 市民企画提案講座	生涯学習課	主催講座を市民から募集し、提案者と公民館がともに作りあげていく講座により、生涯学習活動の振興を図ります。	市民の企画提案により国際化・安全・教育・人権の分野から5講座を開催した。(延べ参加者数309人)	市民の企画提案により社会教育活動及び芸術・文化活動その他の生涯学習活動の振興に資するものから講座を開催する。
76	3-1-(1)-⑨ 生涯学習だより「ひろば」発行	生涯学習課	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知します。	月1回発行し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知した。	全面フルカラーに改訂し、教育委員会主催事業及び社会教育団体の事業などを広く市民に周知するため、月1回発行する。
76	3-1-(1)-⑩ 社会教育関係団体補助金	生涯学習課	市民の学習活動の推進を図るため、社会教育関係団体に対し、補助金を交付します。	社会教育関係団体2団体8事業に補助金を交付した。	社会教育関係団体に対し、補助金を交付する。
76	3-1-(1)-⑪ 文化センターの整備	生涯学習課	自主的な学習を行う団体を支援するために、施設の適切な管理やサービスの維持に努めます。	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施した。 主な生涯学習課の修繕実績 稲城市城山文化センター空調設備改修工事 令和4年8月5日～令和5年3月31日	稲城市組織条例及び同規則により維持管理を実施する。
77	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (2) 生涯学習活動の「担い手」の育成支援				
77	3-1-(2)-① 人材バンクの整備(再掲)	市民協働課・生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
77	3-1-(2)-② サポーターの育成(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
77	3-1-(2)-③ 市民講師システムの整備(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
77	3-1-(2)-④ 生涯学習宅配便講座(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
77	3-1-(2)-⑤ 公民館主催事業(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
77	3-1-(2)-⑥ iプラザ主催事業(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
78	3-1-(2)-⑦ 市民企画提案講座(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
78	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (3)文化財の保護と普及				
78	3-1-(3)-① 文化財保護思想の普及	生涯学習課	文化財の講座、見学会、展示会などを通して、郷土の歴史や文化財にふれる機会を提供し、文化財保護思想の普及を図ります。	文化財講座を4回実施し、延べ参加者数54名であった。また、郷土資料室講座を2回実施し、延べ参加者数29名であった。	文化財講座を年4回実施する。郷土資料室講座を年2回実施する。生涯学習宅配講座を実施する。講座では、市内の歴史と文化財を取りあげて郷土の歴史を普及する。
78	3-1-(3)-② 郷土芸能の保存・伝承	生涯学習課	稲城の各地域で伝えられてきた郷土芸能の保存・伝承を図ります。また隔年で実施している郷土芸能まつりを継続し、郷土芸能保存会の活動を支援します。	構成市9自治体で実施する多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加した。青渭囃子が公演を行い、公演内容を記録した。	第14回稲城市ふるさと郷土芸能祭を実施する。多摩川流域郷土芸能フェスティバルに参加する。
79	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (4)郷土資料室と文化財保管の充実				
79	3-1-(4)-① 文化財資料の調査と収集・保管・公開	生涯学習課	歴史資料、民俗資料など各分野の文化財調査を実施し、稲城の歴史と文化財の把握に努めます。また調査により明らかになった文化財資料を収集し、分類・整理・保管・公開・活用を図ります。	歴史資料の文化財調査を実施した。古文書調査では、調査目録作成作業を進め、資料の翻刻を実施、原稿の作成、編集を行い調査報告書を作成し、稲城市の古文書(三)を発行した。調査が完了した資料は、文化財収蔵庫に保管して整理した。	指定文化財候補の文化財調査を実施する。資料の選定や文書資料の調査、分類整理作業、古文書の解説などを進める。また、民具資料の整理を進める。稲城市のデジタルアーカイブズを作成し、文化財の経年劣化や被災等による焼失・散逸を防ぎ小学校等の学習教材として活用することで、シビックプライドの醸成を図る。
79	3-1-(4)-② 郷土資料室の整備・充実	生涯学習課	稲城の歴史や文化財を市民に公開する施設として、郷土資料室の整備・充実に努めます。また模型資料の作成や展示替えなどにより、展示資料の充実を進め、見学者の増加を図ります。	企画展示として、城山体験学習館において昆虫標本の展示を行った。民俗展示室の展示替えを実施し、収蔵資料を新規に公開して、展示室の充実を進めた。昆虫標本の保存のため防腐剤の交換作業を行った。	企画展示を2回実施し、市内の歴史や文化財について展示を通して発信する。
79	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (5)文化・芸術の振興				
79	3-1-(5)-① 市民文化祭・芸術祭	生涯学習課	市内で活動する自主グループの作品展示や発表、市内外で活躍する芸術家の作品の展示や発表などを通じて、市民の芸術・文化による交流を図ります。	Iのまちいなぎ市民まつりの開催に伴い、総合体育館における市民文化祭・芸術祭展示部門を開催した。自主グループや芸術家の作品が数多く展示され、多くの来場者が芸術にふれる機会を提供することができた。また、中央文化センターにおいてステージ部門を行い、演劇やダンス、舞踊や楽器演奏等、様々な団体や個人の発表機会を提供した。 総動員数 5,483人	市内で活動する自主グループの作品展示や発表、市内外で活躍する芸術家の作品の展示や発表などを通じて、市民の芸術・文化による交流を図る。
79	3-1-(5)-② 各種コンサート	生涯学習課	iプラザホールなどで行われるコンサートや、サロンコンサート、ミニコンサートなど、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場の提供を図ります。	iプラザホール主催事業として12公演、サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施した。	iプラザホール主催事業として12公演、サロンコンサートとして芸術文化団体連合会が1公演実施し、市民が芸術・文化にふれ、交流できる場を提供する。
80	3-1-(5)-③ 大空町芸術文化交流	生涯学習課	それぞれの市・町で行う文化祭に相互に参加し、姉妹都市自治体との交流と芸術文化の向上を図ります。	大空町から文化団体協議会会長及び劇団そらの団員が来訪し、稲城市民文化祭ステージ部門に出演し、市内公共施設を視察した。その後、交流会を開催し、芸術文化に関する意見交換を行った。	芸術文化団体連合会が大空町へ訪問し、大空町の文化芸術を知る機会の提供を受け、相互交流を行うことで、芸術文化の向上を図る。
80	3-1-(5)-④ 青少年芸術文化活動補助事業(再掲)	生涯学習課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
80	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (6)図書館資料の充実整備				
80	3-1-(6)-① 資料の充実整備	図書館課	市民ニーズの把握に努め資料の充実整備を進めます。また、オンラインデータベース等電子資料については、情報提供機能の充実を進めながら活用していきます。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら資料の充実整備を進めた。年度を通して、全館で、図書14,905冊、視聴覚資料649点を受け入れた。	市民ニーズの把握に努めるとともに、新聞書評の内容も注視しながら資料の充実整備を進める。
80	3-1-(6)-② 資料展示	図書館課	社会で関心をもたれるテーマ、地域で課題となっているテーマなどに沿った図書や視聴覚などの資料を展示し、幅広い情報を提供するとともに、読書への関心を高めます。	四季折々の館内展示に加え、SDGs関連資料の展示や、外部機関とのタイアップによる特設展示を行った他、稲城市出身の第167回直木賞作家窪美澄氏の特別展示を行い、読書への関心を高めた。市内6館を回る巡回展示会では、「本で楽しむアートの世界」～あなただけの美術館を見つけませんか?～というテーマで、美術関連資料を中心に421冊を集めて展示。延べ913冊の貸出があった。	四季折々の館内展示、外部機関とのタイアップによる特設展示、及び巡回展示会により、引き続き市民へ幅広く情報提供を行う。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
81	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (7)市民の学習を支援する図書館サービスの充実				
81	3-1-(7)-① レファレンスサービスの充実	図書館課	図書館利用者が、学習・研究・調査を目的として、必要な資料・情報などを求めた際に、資料の検索・提供を行い、情報活用の支援を行います。	利用者からのレファレンス(年間446件)に対応した。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供するほか、各世代向けの図書館の利用のための講座を開催した。	利用者からのレファレンスに対応する。児童書・地域資料・ビジネスといった特定のテーマについて、ブックリストを作成して市民や学校教職員の利用に供するほか、各世代向けの図書館の利用のための講座を開催する。
81	3-1-(7)-② 講演会事業	図書館課	著者などを講師にした講演会を開催し、市民の興味に応え、読書への関心を高めます。	著者などの講演会を開催し、市民の興味に応えるとともに、講演会テーマに沿った展示を行い、読書への関心を高めた。 ○ヤングアダルト向け 10月30日実施 テーマ「小説を書こう！」 ○一般向け 11月13日実施 テーマ「人生を豊かにする稲城の歩き方」 ○市民向け 8月28日実施 テーマ「親子で楽しむ科学あそび」	市民の知的好奇心を満たし、読書への関心につながるようなテーマによる講演会を開催する。
81	3-1-(7)-③ 図書館ボランティアの活動支援	図書館課	ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修など、図書館ボランティアの各種活動支援を行います。	図書館で活動するボランティアの各種支援活動を行った。 音訳講習会：音訳ボランティア向けに、年6回実施 ボランティア養成講座：11月23日実施 おはなしサポート講座：10月11日・10月25日実施 読み聞かせボランティア研修：7月28日実施	図書館ボランティア養成講座や読み聞かせボランティア研修などを行い、ボランティア従事者の新規開拓、及び経験者の技能向上を図る。
81	3-1-(7)-④ 学校図書館整備の促進(再掲)	指導課・教育総務課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
82	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <1 生涯学習の推進> (8)子どもの読書活動の推進				
82	3-1-(8)-① 第三次稲城市子ども読書活動推進計画の推進(再掲)	図書館課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
82	3-1-(8)-② 図書館ボランティアの活動支援(再掲)	図書館課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
82	3-1-(8)-③ 幼児期読書支援事業(再掲)	図書館課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
82	3-1-(8)-④ 地域の読書環境の推進(再掲)	図書館課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
84	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (1)スポーツ・レクリエーション活動の普及				
84	3-2-(1)-① 体づくり運動推進事業	スポーツ推進課	「市民ひとり1スポーツ」を目標に生涯スポーツを推進し、市民の健康維持・体力の増進を図るための事業を実施します。	・市民水泳大会(8月28日、参加人数70人) ・稲城市スポーツフェア(10月10日、参加人数延べ2030人) ・シルバーハイキング(5月18日参加人数18人、11月16日参加人数25人) ・稲城市小中学生マラソン大会(旧市民ロードレース大会)(12月4日、参加人数1096人)	・市民水泳大会(8月27日) ・稲城市スポーツフェア(10月9日) ・シルバーハイキング(5月17日、11月15日) ・稲城市小中学生マラソン大会(旧市民ロードレース大会)(11月26日)
84	3-2-(1)-② 市民体育大会運営事業	スポーツ推進課	広く市民の間にスポーツを普及し、日頃の練習の成果を発揮できる機会を提供するとともに、市民の健康・体づくりや市民交流を図るため、市民体育大会を開催します。	新型コロナウイルス感染症の影響により、1競技(スキー)を中止した。また、雨天によりグラウンドの状況が不良のため、総合開会式を中止とした。 (参加人数 21競技 延べ5,307人)	22競技の種目で市民体育大会を実施予定。(9月~2月)

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
84	3-2-(1)-③ 東京ヴェルディ、読売ジャイアンツ、東京サンレーヴス等支援推進事業	スポーツ推進課	東京ヴェルディ、読売ジャイアンツ、東京サンレーヴスのプロスポーツやトップアスリートなどの競技、試合を直接観戦する機会の充実を図り、スポーツの魅力を感じてもらえる機会を創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンデー <ul style="list-style-type: none"> 東京ヴェルディのホームゲームの内、モンテディオ山形戦(9月24日)をホームタウンデー(稲城市民観戦デー)として開催し、稲城市民を無料または優待料金で招待した。 参加人数:市民優待 206人 無料招待 173人 東京ヴェルディ支援推進物品作製 <ul style="list-style-type: none"> エレベーター扉シート <ul style="list-style-type: none"> 中央文化センター、第二文化センター、第三文化センター、第四文化センター、城山文化センター、地域振興プラザ、福祉センター、オーエンス健康プラザ、ふれんど平尾、稲城中央公園総合体育館 ホームタウン推進懇談会 <ul style="list-style-type: none"> 2月に実施予定であったが新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ホームタウンデー(6月4日 ベガルタ仙台戦 10月7日 大分トリニータ戦) 東京ヴェルディ支援推進物品作製 ホームタウン推進懇親会(2月)
85 3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (2)スポーツ・レクリエーション環境の整備					
85	3-2-(2)-① 体育施設の運営管理	スポーツ推進課	市内の体育施設やスポーツ広場などを社会体育施設として活用し、多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図ります。	<p>市内の各体育施設やスポーツ広場などを有効に活用し、年間下記の利用があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 南多摩スポーツ広場 50,206人 ふれんど平尾(体育施設) 34,233人 稲城長峰スポーツ広場 <ul style="list-style-type: none"> サッカー場 57,739人 フットサル場 16,285人 多目的室1 763人 多目的室2 1,456人 芝生広場 1,061人 稲城中央公園総合体育館 184,523人 稲城中央公園総合グラウンド 24,889人 稲城中央公園野球場 14,301人 若葉台公園多目的広場 14,223人 多摩川緑地公園 43,387人 テニスコート 116,425人 <p>多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、下記の修繕を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 若葉台公園テニスコートA・B面人工芝張替え修繕(工期:5月2日~8月31日) 	多くの市民が日常的にスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・環境づくりを図るため、体育施設全体の劣化状況や優先度等を総合的に判断し、緊急性がある案件について更新、修繕を実施する。
85	3-2-(2)-② 学校体育施設開放	教育総務課	各地域にある学校体育施設を開放し、市民がスポーツ・レクリエーションを楽しめる機会・場づくりを図ります。	<p>学校体育施設において、以下の通り学校開放を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 団体開放 体育館 5,893件 利用者数118,141人 校庭 2,458件 利用者数81,078人 個人開放 4校 開放日82日 利用者数1,706人 	引き続き、学校体育施設において、学校開放を実施する。
85 3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (3)スポーツ・レクリエーション活動の支援					
85	3-2-(3)-① スポーツ団体との連携・支援	スポーツ推進課	スポーツ・レクリエーション活動の推進に向けて、地域のスポーツ団体との連携・支援の強化を図ります。	<p>一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第75回都民体育大会春季大会 第76回都民体育大会夏季大会 第54回東京都市町村総合体育大会 令和4年度都民生涯スポーツ大会 第34回都民スポレクふれあい大会 	一般財団法人稲城市体育協会へ補助金を交付し、各種中央大会への派遣事業を実施予定。

頁	主な取り組み	課名	事業概要	具体的な取組結果(令和4年度)	具体的な実施予定(令和5年度)
86	3-2-(3)-② スポーツ推進委員協議会(再掲)	スポーツ推進課	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)	(再掲のため省略)
86	3-2-(3)-③ スポーツ推進委員協議会研修会	スポーツ推進課	指導者の資質向上やボランティアの確保に向けて講習会を開催します。	・3月15日に稲城中央公園総合体育館ミーティングルームにてスポーツ推進委員協議会研修会を実施。日本ウェルネススポーツ大学講師であり、堀松スポーツ行政研究所所長の堀松英紀氏を講師として、「スポーツリスクマネジメント」の講義が行われた。 ・9月10日に八王子市役所8階会議室及び職員会館体育室にて東京都スポーツ推進委員広域地区別研修会を実施。日本工学院八王子専門学校講師である伊藤 茂彦 氏を講師として、「スポーツを通じた障がい者との交流～豊かな社会づくりを考える～」の講義及び「障がいに応じたスポーツを考える」の実技講習が行われた。	年2回程度の研修会を実施予定
87	3 市民の生涯にわたる学習活動の振興 <2 スポーツ・レクリエーション活動の振興> (4)スポーツ・レクリエーションを活用した魅力あるまちづくり				
87	3-2-(4)-① 各種スポーツ団体等と連携したスポーツを活用した魅力あるまちづくり	スポーツ推進課	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会で定着したボランティアを活用し、各種スポーツ団体や様々な分野の担い手と連携したスポーツイベントを開催することで、スポーツを活用した魅力あるまちづくりを推進します。	・7月30日に実施される「東京2020オリンピック・パラリンピック 1周年記念 自転車ロードレース レガシーサイクリング」の運営に協力し、稲城中央公園へのエイドステーション設置及び運営を行った。 ・体育協会、体育振興会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、東京ヴェルディ、読売巨人軍等のスポーツ関連団体と連携し、稲城市スポーツフェア(10月10日、参加人数延べ2030人)、Iのまちいなぎ市民まつりファミリースポーツフェスタ(10月22日、23日、参加人数延べ1,624人)を実施した。	・体育協会、体育振興会、スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、東京ヴェルディ、読売巨人軍等のスポーツ関連団体と連携し、稲城市スポーツフェア(10月9日)、Iのまちいなぎ市民まつりファミリースポーツフェスタ(10月21日、22日)を実施予定。
87	3-2-(4)-② 市や地域が主催するスポーツイベントや大会等情報提供	スポーツ推進課	市や教育委員会が発行する広報誌等により、主催事業の案内や、地域のスポーツ団体の会員募集・催し物の周知等を行います。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行った。	広報(月2回)、生涯学習だより「ひろば」(月1回)、ホームページなどにより、スポーツイベントや大会等の情報提供を行う。
87	3-2-(4)-③ 友好都市等スポーツ交流事業	スポーツ推進課	体育協会に所属するスポーツ団体を、友好都市相馬市に派遣し、相馬市のスポーツ団体と交流試合を行うこと等で、友好都市等の市民同士の交流を図ります。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止。	体育協会に所属するスポーツ団体を、友好都市相馬市に派遣し、相馬市のスポーツ団体と交流試合を行う予定。